

25-02-28

「軌道変位モニタリング装置」搭載車両の試験走行を実施します

名古屋鉄道では、名鉄グループ中長期経営戦略の重点項目に掲げる、「稼ぐ力の強化・構造改革の推進」の一環として、鉄道事業における効率化・生産性向上に向けた取り組みを推進しています。

今回、鉄道保守業務である線路メンテナンスの技術革新を目的として、営業車両に線路のゆがみを測定する「軌道変位モニタリング装置」を搭載し、試験走行を実施します。

記

1 概 要

既存車両の下部に「軌道変位モニタリング装置」を搭載し、装置から出るレーザーをレールに照射することで、線路のゆがみをリアルタイムかつ高頻度に自動測定します。これにより測定頻度が向上し、より効果的な線路メンテナンスが可能となります。

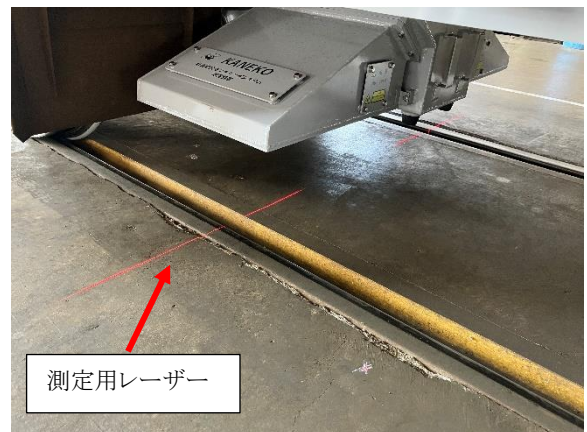
測定されたデータは無線によりクラウド経由で担当部署へ伝送され、データの分析により線路の状態変化を早期に把握し、適切なメンテナンス計画の策定に役立てます。

2 今後の予定

実用化に向けた検証のため、2025年3月から瀬戸線において装置搭載車両の試験走行を実施し、本運用に向けた検討を進めます。



軌道変位モニタリング装置搭載状況



測定用レーザー

軌道変位モニタリング装置

以 上